

高松桜井高校 令和7年度 創立記念講演

和田邦坊ブームの仕掛け人 西谷美紀氏講演会を開催します！

和田邦坊といえば、第一次世界大戦後の日本の好景気を象徴する「成金おじさん」のイラストや、香川県庁の知事応接室の背景の松の障壁画、名物かまどや灸まんの包装紙のデザイン等で有名な、郷土のマルチクリエイターです。この再評価の著しい和田邦坊についての研究家であり仕掛け人でもある、灸まん美術館学芸員の西谷美紀氏は本校の5期生です。

本校では毎年、11月の創立記念日に合わせて講演会を開催しておりますが、今年は創立31年目にして初めて卒業生にご講演いただく運びとなり、ひときわ感慨深いものがございます。

また本校には学芸員を志す生徒も多いことから、活躍する先輩の背中を見ながら具体的に自身の将来を構想してもらう絶好の機会になればとも考えております。さらに講演後には西谷氏と生徒との懇談の場を設けております。

いわば30年をかけて成長してきた学校のひとつの晴れ姿でもありますので、ぜひとも取材していただきたく存じます。

- 1 日 時 令和7年11月12日(水)15:05～16:25
- 2 場 所 高松桜井高等学校 体育館
- 3 講 師 にしたに み き 西谷美紀氏(灸まん美術館・和田邦坊画業館 学芸員)
- 4 内 容 学芸員としての仕事および和田邦坊について(演題未定)
- 5 参 加 者 本校生831名、教職員60名、PTA関係数十名



西谷 美紀 氏

西谷美紀 (Museum Researcher) 略歴

香川県高松市出身。龍谷大学文学部史学科国史学専攻。平成23年(2011)「さぬき画報—栗林公園にいた和田邦坊」展を企画。平成28年(2016)和田邦坊リサーチプロジェクト開始。同年『和田邦坊デザイン探訪記』脱稿。現職、灸まん美術館学芸員。